



令和元年(2019年)7月30日(火)

広島市安佐動物公園 活性化担当課長：木下

担当：企画広報係 谷口、嶋田 ☎082-838-1111

ニホンカモシカの赤ちゃんが産まれました

ニホンカモシカのサキ（雌、8歳）が、令和元年7月19日（金）に赤ちゃんを出産しました。
順調に成育すれば、当園でのニホンカモシカの繁殖成功は平成24年以来、7年ぶりです。

1 誕生个体

ニホンカモシカ 雄1頭

誕生日：令和元年7月19日（金）

母親：サキ 8歳

平成23年4月26日 安佐動物公園生まれ

父親：ヒカリ 8歳（高知県で保護）

※保護後は、わんぱくこうちアニマルランドで飼育

平成25年10月31日 安佐動物公園に来園



サキと赤ちゃん
(令和元年7月23日撮影)

2 取材及び公開について

展示場で子育ての様子をご覧くださいことができます。

3 安佐動物公園のニホンカモシカについて

安佐動物公園では、昭和60年の西園開園以来、ニホンカモシカを飼育してきました。当初は本州産のニホンカモシカを飼育していましたが、個体数の少ない四国産のニホンカモシカの繁殖に取り組むため、平成18年に四国産のニホンカモシカを導入しました。現在は当園の全飼育個体（今回の繁殖個体を含み4頭）が四国産のニホンカモシカです。ニホンカモシカは、国内の（公財）日本動物園水族館協会加盟園館では、18園で59頭が飼育されていますが、そのうち四国産のニホンカモシカは安佐動物公園を含めた4園で14頭が飼育されています（数値は平成30年末現在）。

※ 四国産ニホンカモシカ

ニホンカモシカは中国地方を除く本州と四国、九州の一部に生息しているウシ科の動物で日本固有種。昭和30年に国の特別天然記念物に指定されている。四国に生息する個体群は本州のものに比べて小柄で、体色や角にも違いがみられるなど、遺伝的に隔離された個体群として貴重な存在である。平成27年には環境省のレッドリストで、四国地方のカモシカが絶滅の恐れのある地域個体群に選定されている。

開園時間 午前9時から午後4時30分まで（ただし、入園は午後4時まで）

入園料 大人510円、65歳以上・小人（高校生及び高校生相当年齢）170円 ※中学生以下無料
※65歳以上の適用には公的証明書が必要

休園日 毎週木曜日（8月15日は臨時開園）

※ 納涼 ナイト☆サファリは8月10日（土）～9月1日（日）の土日を開催します！